

日本においても企業買収、M&Aは増えてきています。2022年は、4,304件の日本企業がM&Aにかかわり、その数は過去最大です。

中心は中小企業の事業承継に関するものと伝えられていますが、今後件数はさらに増えていくと思われます。

買主は事業価値を把握するため、デューデリジェンスを行いますが、売主により開示された情報が判断材料に使用されます。高く売りたい売主と隠されているリスクにより買収後問題がないように価値判断をしたい買主。取引が問題なく進むよう、売主が契約にかかわる情報を開示し、それが正しいと表明保証を行うケースが増えてきています。

売主の表明保証に虚偽があった場合に、買主が被る損害を保険金として払う、表明保証保険を今回はご紹介しません。

日本ではまだあまりなじみのない保険ではありますが、今後の企業活動を円滑に進める上で重要な保険になるかと思えます。

弊社では引き受けの経験がある者を今年初め採用し、保険の紹介をさせていただいております。買収をお考えの際にご検討いただけたら幸いです。